人間環境学部
The Faculty of Human Environmental Studies

観 Tourism　環 Environment　他 Other

研究トピックス

海洋環境保全のための生物多様性学

専門分野

動物系統分類学　海洋環境科学

岡西　政典　OKANISHI Masanori

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbsgkodggy

研究概要

海洋は地球の 7 割（面積）から 9 割（体積）を占める重要な環境である。近年、プラスチックによる汚染などによって多くの海洋生物に影響が与えられていることが問題となっており、その保護が喫緊の課題となりつつある。しかし海洋生物は水中におけるモニタリングの難しさから、その保護対策の選定が難しい。本研究では、環境 DNA 手法などの開発によって、海洋生物を対象としたモニタリング方法の策定を行う。

研究シーズの応用

企業が海洋環境を開発する際の海洋環境モニタリング法を提供することが可能。特に環境 DNA モニタリング法は、最新研究に基づいた非破壊的な方法である。

キーワード

瀬戸内海　海洋環境汚染　海洋環境保全

人間環境学部
The Faculty of Human Environmental Studies

環 Environment

他 Other

研究トピックス

小規模自治体に最適な温室効果ガス排出量調査法の研究，農業部門の温室効果ガス研究、計測しない住宅の用途別エネルギー需要推定法の開発

専門分野

建築環境工学　地域エネルギー・物質フロー研究　民生部門環境負荷分析

田中　昭雄　TANAKA Akio

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkmygooggy

研究概要

小規模自治体が自前で、地域の温室効果ガス排出量を推定するための調査法を自治体職員等に技術指導や人材育成に協力します。

研究シーズの応用

公的に提供される地方自治体は、脱炭素化の PDCA 実現には、データ精度や提供されるタイミングの観点で、不充分です。統計の素人でも実戦可能な地域環境負荷調査法について提案します。

キーワード

温室効果ガス，PDCA サイクル，農業，市町村別，家庭部門

健康科学部
The Faculty of Health Sciences

教 Education　福 Welfare　他 Other

研究トピックス

現代の倫理的課題、現代社会の倫理教育の在り方の探究

専門分野

哲学、倫理学、倫理教育論

嶋﨑　太一　SHIMAZAKI Taichi

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbdgdyiggy

研究概要

哲学･倫理学を専門とし､特にニュートンとカントの自然哲学の文献学的研究を主として行ってきました。同時に生命倫理や科学技術倫理など現代倫理学についても調査・検討しています。特に、今日の AI 技術やロボット技術の倫理的課題に関心を持っています。
また、高等学校教員、高等専門学校教員の経験を踏まえ、学校教育の倫理的課題についても追究しているほか、公民科「倫理」教育の方法や専門職倫理教育の在り方についても検討を続けています。

研究シーズの応用

哲学・倫理学の研究者ですが、高等学校の教材や大学の教育学のテキストの分担執筆も経験し、学校教育の課題などについても関心をもっています。
さしあたり以下のような点を対応可能領域としています。
1 生命倫理・医療倫理、AI の倫理などについての相談
2 教育の倫理、倫理の教育についての相談
3 哲学に関連する文献や資料の調査

キーワード

現代社会の倫理、教育倫理、倫理教育

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

教 Education　他 Other

研究トピックス

中国の政治外交研究、日中・米中関係を中心とした東アジア国際政治、中国文明の特質と日中文明の比較研究

専門分野

国際政治　中国政治外交　日中関係　文明論研究

王　偉彬　WANG　Weibin

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkdgkgbggy

研究概要

1. 中国政治外交研究
2. 日中・米中関係を中心とした東アジアの国際政治に関する研究
3. 中国文明の特質と日中文明の比較研究

著書（単著）:「中国と日本の外交 ― 一九五〇年代を中心にみた国交正常化へのプロセス―」（ミネルヴァ書房、２００４年)、

著書（共著）:中園和仁編『中国がつくる国際秩序』（ミネルヴァ書房、2013 年)。

研究シーズの応用

中国進出に際しての政治・経済事情等を含む異文化問題

キーワード

中国の社会環境　企業文化　社会風習

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

教 Education　街 Promotion of our community　他 Other

研究トピックス

ボトムアップなまちづくり・市民参画

専門分野

都市デザイン分野

木原　一郎　KIHARA　Ichiro

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdmgigbggy

研究概要

まちづくり、建築・公共空間の使い方の検討、建築設計の際に、一般市民がスムーズに参画できるような場・ワークショップ・アクションプランの計画などを行っています。特に市民参画が形骸化せず、今後自分ごととしての行動ができるようなプロセスや場について研究しています。広島市都心部での将来ビジョンを計画・実装していく取り組みを行っている#カミハチキテル- Heart of Hiroshima -にて実践的に研究しています。

またエリアマネジメントにおける協創のあり方を研究しています。協創が必要なことはみなさん理解されているところと思いますが、実現させるにはとても多くの壁があります。それを乗り越えるプロセスやアクションを実践的に研究しています。

研究シーズの応用

まちづくりへの一般市民の参画、建築設計や空間活用における地域住民の意見収集、地域の今度のまちづくりの方向性検討、これらの検討プロセスや場の設えなどにお困りでしたらお力添えできます。またエリアマネジメントの進め方もご相談ください。

キーワード

市民参画　ワークショップ　エリアマネジメント

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

福 Welfare　街 Promotion of our community　他 Other

研究トピックス

地域住民参加型の新しい民主主義のかたち

専門分野

政治学　政治理論　民主主義論

小須田　翔　KOSUDA Sho

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymbkgdgeggy

研究概要

民主主義、とくに熟議民主主義を研究の対象としています。なぜ熟議民主主義がよいのか、どのような熟議の形態がありうるかといった理論的なことや、市民の方々が集まって話し合いをする中で、男性と女性の間のばらつきや集団の極化現象などが生じることの問題性についても関心があります。
主な研究手法は政治理論です。政治理論では、正義・自由・平等・民主主義といった抽象的な概念を哲学的に分析します。この分析を通して、ジェンダー不平等、差別、格差、移民排斥、環境破壊などがなぜ問題なのかについての知見を得ることができます。

研究シーズの応用

1．主に民主主義や熟議民主主義について研究してきたことから、それに関する「ミニ・パブリックス」や「くじ引き民主主義」についての知見を共有することができます。新たな市民参加の方法として参加型予算や住民討議会、気候市民会議などの運営に参画することもできます。
2．政治理論・政治哲学の知見を提供することができます。フェミニズム、構造的不正義、差別、経済的格差などの問題を、理論的な観点からご紹介します。

キーワード

市民参加、ミニ・パブリックス、熟議民主主義

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

街 Promotion of our community

他 Other

研究トピックス

自治体の政策プロセス（of の知識）と、個別分野における政策課題とその対策（in の知識）

専門分野

地方自治法　地方自治論　政策法務論

澤　俊晴　SAWA　Toshiharu

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdogygsggy

研究概要

これまでは、都道府県条例と市町村条例の関係、条例による事務処理の特例と権限移譲、行政不服審査法と条例に基づく処分、手話言語条例や補助金等交付条例、浸水対策推進条例など個別の条例、自治体における政策実施過程などについて研究してきました。

研究シーズの応用

主に自治体の法務関係を中心に実務経験を積み、研究してきたことから、それらに関する審議会委員等に対応することができます。

キーワード

条例論、災害予防法制、政策実施過程論、政府間関係論、行政不服審査法関係

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

教 Education　観 Tourism　他 Other

研究トピックス

世界の中の日本について、日本政治、日本外交、国際政治の枠組みから考察している。

専門分野

国際政治学　国際日本学

三上　貴教　MIKAMI　Takanori

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkmgsosggy

研究概要

最新の研究において「十年一昔アプローチ」を提唱している。10 年前の施策を現在から照射することで、その成否、残された課題、今日への影響について考察する。また 10 年後のあるべき姿から現在の施策を検討し、その意味、有効性を議論する。首相による施政方針演説を主なテキストとしている。

加えて国際政治学理論におけるソフトパワーを考える研究、国際社会に横溢するランキングを素材とした研究も行っている。ランキングについては、これを無批判に受容するのではなく、その背後にある意図、問題意識、作成手法にも注意を向ける、言わばランキング・リテラシーの向上に結びつける必要性について主張している。

研究シーズの応用

「十年一昔アプローチ」は、本研究者が専門とする政治学に関連する分野を超えて、現在の社会状況を分析する上で、広範な領域における応用が可能である。10 年前の中国やアメリカが国連で主張していたことの内、何が実を結び、何が単なる掛け声だけに終わってしまったのか。国際社会の環境の変化を変数として認識しつつ、客観的、表面的に捉えられるデータを掌握すると共に、価値観やアイデンティティなど、文化的な要素も加味して論究する。世界の中の広島を考える上でも有用な手法であると確信している。

キーワード

世界の中の日本　日本の中の世界　ソフトパワー

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

教 Education　観 Tourism　他 Other

研究トピックス

チェコから見たヨーロッパ理解

専門分野

国際政治史　中欧地域研究　チェコ研究

矢田部　順二　YATABE　Junji

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygioiggy

研究概要

これまで国際政治史研究の立場から、チェコ現代史、チェコスロヴァキア対外関係を研究してきました。チェコ共和国と周辺諸国の相互関係の歴史分析が専門領域です。チェコ教育省の政府給費留学生として2年半、さらに在チェコ日本大使館の専門調査員として2年、現地に滞在した経験から現地語であるチェコ語を使った研究をしています。地域を理解するには総合的アプローチが必要との考えから、政治研究のみならず文化理解の造詣も深めるように努めています。

研究シーズの応用

かつては「鉄のカーテン」の向こう側だったチェコスロヴァキア。現在はチェコ共和国となり、EU加盟国です。日本ではまだあまりよく知られていない国かも知れませんが、原爆ドームの設計者がチェコ人建築家のヤン・レツルであったことなど、広島ともつながりのある国です。地域研究の立場から情勢説明や、地域理解の支援、あるいはチェコ語学習の教授などができます。また、中欧地域の政治文化についても解説することができるでしょう。

キーワード

ヨーロッパ理解　地域研究　チェコ語

国際コミュニティ学部
The Faculty of Global and Community Studies

街 Promotion of our community

他 Other

研究トピックス

地方自治体の行政管理、組織運営

専門分野

行政学 地方自治論 公共政策論

山中 雄次 YAMANAKA Yuji

教員情報 https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdigmgyggy

研究概要

地方自治体における行政改革、人事や組織運営を主な研究テーマとしています。とりわけ、2000 年初頭に地方自治体間で大流行した NPM の「その後の姿」について考察しています。これまでに、行政経営計画、政策評価、指定管理者制度、市民協働に関する研究成果があります。

研究シーズの応用

地方自治体での長年の実務経験とそれをベースとした研究を踏まえ、地方自治体が開催する各種委員会・審議会に参画し、議論に加わることが可能です。
また、担当するゼミナールの時間、自治体職員の皆様にご出席いただき、大学生と意見交換することも大歓迎です。若者の声を聴いてみませんか？

キーワード

地方自治、行政経営